



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月11日

上場会社名 黒田精工株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7726 URL <http://www.kuroda-precision.co.jp/>  
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 黒田 浩史  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 荻窪 康裕 TEL 044-555-3800  
四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	10,637	31.0	664	67.0	1,026	158.4	657	160.3
2022年3月期第2四半期	8,120	26.4	397	261.4	397	428.6	252	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 725百万円 (132.6%) 2022年3月期第2四半期 312百万円 (135.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	115.72	—
2022年3月期第2四半期	44.52	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	23,215	10,407	44.0	1,796.57
2022年3月期	22,047	9,806	43.6	1,693.66

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 10,214百万円 2022年3月期 9,612百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	25.00	25.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	31.00	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	10.8	1,350	1.1	1,250	△13.1	700	24.2	123.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	5,693,135株	2022年3月期	5,683,150株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	7,583株	2022年3月期	7,583株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	5,680,559株	2022年3月期2Q	5,671,888株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、（添付資料）3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻の継続や原油をはじめとする資源価格の高騰、部材不足の長期化、新型コロナウイルス感染症による中国国内の一部都市封鎖、各国金利の上昇など制約要因の多い状況で推移しました。

国内においては、新型コロナウイルス感染対策の進展と行動制限の緩和により経済活動の正常化が進んだものの、為替相場において急激な円安が進み、エネルギー価格の高騰と相まって物価上昇を招くなど、経済活動に大きな影響が及んでおります。

こうした状況下、当社グループにおいては半導体・各種分析関連装置市場向け駆動システム商品の受注が引き続き堅調であったことに加えて自動車向け金型システム商品の需要が好調に推移し、受注高は11,856百万円（前年同期比1,781百万円、17.7%増）となりました。売上高は駆動システムの増産や、金型システムの売上増が寄与し10,637百万円（前年同期比2,516百万円、31.0%増）となりました。

利益面に関しては、増収効果が寄与して営業利益は664百万円（前年同期比266百万円、67.0%増）、経常利益は為替差益229百万円、受取ロイヤリティー111百万円等の営業外収益もあり1,026百万円（前年同期比629百万円、158.4%増）と、大幅な増益となりました。以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は657百万円（前年同期比404百万円、160.3%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

なお、下記セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて表示しております。

#### ○ 駆動システム

当セグメントでは、受注高は4,548百万円（前年同期比776百万円、14.6%減）となりました。部材不足による顧客の生産調整等の影響により前年同期の急激に拡大した受注には及ばなかったものの、主要市場である半導体製造装置・各種分析関連装置分野向けを中心に引き続き高い水準を維持しております。売上高は潤沢な受注残を背景に生産体制増強に努めた結果4,476百万円（前年同期比387百万円、9.5%増）となり、営業利益は622百万円（前年同期比92百万円、17.4%増）と、増収増益となりました。

#### ○ 金型システム

当セグメントでは、車載用モーター向け金型及び周辺システムに加えモータコア等の受注急増により、受注高は5,250百万円（前年同期比2,477百万円、89.3%増）と大幅な増加となりました。受注高の増加に伴い売上高も同様に4,434百万円（前年同期比1,856百万円、72.0%増）と大幅な増収となりました。営業利益は166百万円（前年同期比93百万円、129.0%増）と増益となりました。

#### ○ 機工・計測システム

当セグメントでは、自動車業界の生産減や部品納期の長期化等の影響を受けましたが、積極的な受注活動や調達努力により、受注高は2,065百万円（前年同期比81百万円、4.1%増）、売上高は1,734百万円（前年同期比273百万円、18.7%増）と前年同期を上回りました。収益面では依然として厳しい状況が続いていますが、前年同期と比較して売上を伸ばしたことにより、営業損失110百万円（前年同期は営業損失192百万円）と損失減少の結果となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は23,215百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,168百万円増加しました。これは主に有形固定資産等の増加により固定資産が11百万円増加し、棚卸資産の増加等により流動資産が1,156百万円増加したことによるものです。

負債合計額は12,807百万円となり、前連結会計年度末と比較して566百万円増加しました。これは主に電子記録債務等の増加により流動負債が878百万円増加したものの、長期借入金等の減少により固定負債が312百万円減少したことによるものです。

また、当第2四半期連結会計期間末の純資産は10,407百万円となり、前連結会計年度末と比較して601百万円増加しました。これは主に利益剰余金の増加等により株主資本合計が533百万円増加し、為替換算調整勘定等の増加により、その他の包括利益累計額が68百万円増加したことによるものです。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に比較して769百万円減の2,077百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、増加した資金は143百万円（前年同四半期は1,973百万円の増加）となりました。これは主に棚卸資産の増加1,147百万円、売上債権の増加454百万円等により資金が減少した一方、税金等調整前四半期純利益の計上1,042百万円、仕入債務の増加831百万円等により資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は414百万円（前年同四半期は254百万円の減少）となりました。これは主に有形固定資産等の取得427百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は544百万円（前年同四半期は1,325百万円の減少）となりました。これは主に短期借入金の増加200百万円により資金が増加した一方、長期借入金の返済528百万円等により資金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期業績予想につきましては為替の影響、エネルギーコストの高騰、海外子会社の業況等が不透明であること等を勘案し、2022年8月10日公表した数値を変更しておりません。今後の業績動向を見ながら、修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,899,395	2,130,195
受取手形及び売掛金	3,944,367	4,409,454
電子記録債権	355,452	394,725
商品及び製品	1,259,987	1,718,004
仕掛品	2,027,353	2,493,968
原材料及び貯蔵品	955,126	1,311,992
その他	625,179	764,275
貸倒引当金	△3,993	△3,155
流動資産合計	12,062,870	13,219,461
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,380,604	2,335,477
機械装置及び運搬具(純額)	1,581,158	1,622,438
土地	1,869,755	1,869,755
リース資産(純額)	692,246	777,801
建設仮勘定	70,325	99,129
その他(純額)	136,632	131,337
有形固定資産合計	6,730,722	6,835,940
無形固定資産		
のれん	734,079	752,440
その他	164,655	161,996
無形固定資産合計	898,734	914,436
投資その他の資産		
投資有価証券	1,725,850	1,562,520
繰延税金資産	462,457	519,265
その他	168,896	178,267
貸倒引当金	△1,751	△13,923
投資その他の資産合計	2,355,453	2,246,130
固定資産合計	9,984,911	9,996,507
資産合計	22,047,781	23,215,968

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,610,155	1,711,500
電子記録債務	2,462,646	3,293,493
短期借入金	1,111,000	1,215,299
リース債務	138,218	162,750
未払法人税等	492,859	433,686
賞与引当金	359,293	348,755
受注損失引当金	7,716	854
資産除去債務	37,861	40,702
その他	1,102,408	993,757
流動負債合計	7,322,160	8,200,801
固定負債		
長期借入金	2,170,943	1,755,058
リース債務	576,961	635,395
再評価に係る繰延税金負債	358,749	358,749
役員退職慰労引当金	24,064	25,894
退職給付に係る負債	1,426,236	1,463,041
その他	362,367	369,045
固定負債合計	4,919,323	4,607,185
負債合計	12,241,484	12,807,987
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,911,680	1,920,737
資本剰余金	1,516,507	1,525,563
利益剰余金	4,289,026	4,804,523
自己株式	△9,067	△9,067
株主資本合計	7,708,147	8,241,756
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	697,490	583,361
土地再評価差額金	814,401	814,401
為替換算調整勘定	355,459	539,774
退職給付に係る調整累計額	37,004	35,247
その他の包括利益累計額合計	1,904,356	1,972,785
非支配株主持分	193,793	193,439
純資産合計	9,806,297	10,407,980
負債純資産合計	22,047,781	23,215,968

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	8,120,928	10,637,789
売上原価	6,033,329	8,020,705
売上総利益	2,087,599	2,617,084
販売費及び一般管理費	1,689,966	1,952,932
営業利益	397,632	664,151
営業外収益		
受取配当金	20,718	25,085
為替差益	—	229,876
持分法による投資利益	362	385
設備賃貸料	19,658	19,671
スクラップ売却益	17,640	18,372
受取ロイヤリティー	1,805	111,482
その他	24,530	54,673
営業外収益合計	84,716	459,546
営業外費用		
支払利息	30,568	31,481
売上割引	17,288	—
為替差損	697	—
クレーム対策関連費用	—	22,544
その他	36,527	43,130
営業外費用合計	85,082	97,156
経常利益	397,266	1,026,540
特別利益		
固定資産売却益	10	16,316
雇用調整助成金	16,101	—
特別利益合計	16,112	16,316
特別損失		
固定資産除却損	454	81
新型コロナウイルス感染症関連損失	21,687	—
特別損失合計	22,142	81
税金等調整前四半期純利益	391,235	1,042,775
法人税、住民税及び事業税	161,288	399,507
法人税等調整額	△23,750	△5,670
法人税等合計	137,537	393,837
四半期純利益	253,698	648,938
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1,162	△8,446
親会社株主に帰属する四半期純利益	252,535	657,385

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	253,698	648,938
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,836	△114,129
為替換算調整勘定	51,313	192,827
退職給付に係る調整額	213	△1,757
その他の包括利益合計	58,364	76,941
四半期包括利益	312,062	725,879
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	308,222	725,814
非支配株主に係る四半期包括利益	3,840	65

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	391,235	1,042,775
減価償却費	394,600	440,067
のれん償却額	34,636	36,490
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,801	11,211
賞与引当金の増減額 (△は減少)	137,038	△10,671
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,896	1,830
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△24,583	34,274
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△3,758	△6,861
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△74,396	—
受取利息及び受取配当金	△24,342	△26,823
支払利息	30,568	31,481
持分法による投資損益 (△は益)	△362	△385
有形固定資産売却損益 (△は益)	△10	△16,316
有形固定資産除却損	454	81
売上債権の増減額 (△は増加)	647,906	△454,312
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△397,949	△1,147,631
仕入債務の増減額 (△は減少)	930,130	831,323
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△52,896	△120,998
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	74,674	△45,798
その他	△4	418
小計	2,062,040	600,155
利息及び配当金の受取額	24,642	28,409
利息の支払額	△31,914	△32,644
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△81,723	△452,914
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,973,044	143,006
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△4,000	△4,000
定期預金の払戻による収入	4,000	4,000
投資有価証券の取得による支出	△444	△527
有形及び無形固定資産の取得による支出	△269,069	△427,185
有形及び無形固定資産の売却による収入	31	16,321
長期貸付金の回収による収入	3,131	549
その他	11,362	△4,100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△254,989	△414,942
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△1,099,353	200,000
長期借入金の返済による支出	△499,681	△528,753
リース債務の返済による支出	△54,631	△73,860
セール・アンド・リースバックによる収入	385,821	—
配当金の支払額	△56,681	△141,889
その他	△1,259	△419
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,325,785	△544,923
現金及び現金同等物に係る換算差額	34,504	47,659
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	426,774	△769,200
現金及び現金同等物の期首残高	2,136,480	2,846,395
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,563,255	2,077,195

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用しております。なお、当該会計基準等の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	駆動 システム	金型 システム	機工・計測 システム	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,084,272	2,578,330	1,458,324	8,120,928	—	8,120,928
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,705	—	2,627	7,332	△7,332	—
計	4,088,978	2,578,330	1,460,952	8,128,260	△7,332	8,120,928
セグメント利益又は損失 (△)	530,327	72,564	△192,714	410,176	△12,544	397,632

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△12,544千円は、セグメント間取引消去89千円と報告セグメントに帰属しない一般管理費△12,633千円であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	駆動 システム	金型 システム	機工・計測 システム	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,471,618	4,434,893	1,731,278	10,637,789	—	10,637,789
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,893	—	3,371	8,264	△8,264	—
計	4,476,511	4,434,893	1,734,649	10,646,054	△8,264	10,637,789
セグメント利益又は損失 (△)	622,541	166,138	△110,045	678,634	△14,483	664,151

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△14,483千円は、セグメント間取引消去160千円と報告セグメントに帰属しない一般管理費△14,643千円であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。